

平成28年12月発行



北海道子ども読書応援団ニュース

No. 10

ゆめ\*よみ

編集担当

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課

社会教育・読書推進グループ

TEL: 011-204-5994

FAX: 011-232-2236

## 読書活動充実事業を21町村で実施！

「読書活動充実事業」は、書店や独立した公立図書館がない道内38の町村を対象に、平成27年度から3か年で実施するもので、読書への興味や関心を高めてもらうため、POPづくりやビブリオバトルを体験してもらうものです。

今年度は21町村で実施され、参加した子どもたちからは、「楽しかった」「またやってみたい」「友達が紹介していた本を自分でも読んでみたいと思った」などの声が寄せられました。完成したPOPや選ばれたチャンプ本等は、町村の公民館等に展示され、子どもたちの活動の様子が、広く地域の方々にも紹介されました。



## 各地の子ども読書応援団の取組紹介

子どもたちのキラキラした瞳に励まされて

### ぐりとぐらのえほんぽけっと（羅臼町）

根室管内羅臼町の「ぐりとぐらのえほんぽけっと」は、子どもと本に関わる活動に関心のある方が中心となり、1992年結成した読み聞かせサークルです。

主な活動は、羅臼町内の<sup>しゅんしょう</sup>春松小学校1・2学年の児童を対象として、月1回定期的に読み聞かせ活動を行っています。その他の学年には、羅臼町公民館図書室と連携を図りながら朝の読書の時間を活用して読み聞かせを行っています。

読み聞かせ活動で大切にしていることは、必ず始めに詩を読むこと。そして、子どもたちがふれる機会が少なくなっている昔話を取り入れることです。

いつの時代も変わらず、子どもたちが本を見るキラキラした瞳に励まされながら、5人の会員で地域での活動を続けています。

今後も学校や羅臼町公民館図書室との連携を図りながら無理せず「細く長く」をモットーに継続していきます。



【教育委員会事業での読み聞かせの様子】

## 絵本の楽しさを！

### おはなしポケット（江別市）

サークルの活動は今年度で23年目を迎え、現在は6名の会員で活動しています。

主な活動として、江別市情報図書館を会場に、毎月第4土曜日午前10:30～11:30の1時間程度、幼児や小学校低学年を対象に読み聞かせ会を行っています。

最近では、幼児やお母さんたちの参加が増えてきており、絵本や紙しばいの読み聞かせだけでなく、手あそびやゲームなども親子で楽しめるように工夫しています。

読み聞かせの後は、工作をして作品を持ち帰ってもらっており、参加者から大変好評です。



### 代表の岩崎さんのお話

読み聞かせを行うことで、絵本の楽しさを伝えるとともに、読み手も参加者も一緒に楽しむ『参加型』というスタイルを大切にしています。活動していて、子どもの成長を見るのがとても楽しく、今後も子どもたちやお母さんたちの出会いを大切にしたいと考えています。

## たくさん子どもたちに絵本との出会いを

### 館浦婦人会読み聞かせの会（乙部町）

「館浦婦人会読み聞かせの会」は、平成14年に発足しました。きっかけは、以前から婦人会活動を行っていた乙部町館浦婦人会の会員の中で、お孫さんに絵本の読み聞かせをする人がおり、「もっと多く子どもたちに絵本の楽しさを伝えたい」という願いに他の会員が賛同したことです。

主な活動は、毎月第4土曜日に町の公民館図書室において、幼児・小学生等とその保護者を対象に絵本や紙芝居の読み聞かせ会を行っています。また、保育園や小学校のほか、高齢者施設への出前読み聞かせ会を実施するなど、幅広い年齢層を対象に読書活動の推進をしており、読み聞かせ以外にも昔遊びや童謡を一緒に歌うなど活動の輪が徐々に広がっています。

最近では、町教育委員会が主催するブックスタートに読み聞かせボランティアとして協力し、4ヶ月乳幼児健診を受診される赤ちゃんと保護者を対象に、絵本との出会いと読み聞かせの大切さを普及する活動に取り組みました。

平成24年度に、地域ぐるみで読書活動の推進に取り組む実践が評価され、北海道優良読書グループ表彰の北海道地域活動振興協会理事長賞を、また、乙部町表彰条例に基づく善行表彰を受賞しました。



## 読み聞かせ等による読書をする子どもの育成

### 読み聞かせグループ「おはなしくれよん」（豊富町）

豊富町の「読み聞かせグループ『おはなしくれよん』」は、「子どもたちに本の楽しさやすばらしさを伝えたい」という共通の思いをもつ母親たちが集まり、平成10年8月に発足しました。発足以来、地域の読書ボランティアとして豊富町教育委員会、町内の保育園などと連携して、幼児や保護者を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせ会を月1回開催したり、人形劇や紙芝居などの特別公演を行ったりするなど、読書活動の普及を行っています。

また、保護者による、早期からの読書習慣の形成の重要性について、子ども読書週間での「おはなし会」や保護者が目につく場所への手作りポスターの掲示などの取組を通して啓発し、主体的に読書をする子どもの育成に貢献しています。

このような取組から、平成20年度に「宗谷管内教育実践表彰」、平成21年に「北海道優良読書グループ表彰 北海道地域活動振興協会理事長賞」を受賞しています。

平成28年10月に行われた「第3回図書まつり」において、小学生を対象に「読み聞かせ会」を行いました。参加した子どもたちは、興味深く、真剣に聴き入っていました。

代表の矢田氏からは、「今までは、幼児向けに活動してきましたが、今年は、新しくなった小学校の図書室を利用して、小学生でも休みに読み聞かせを行っています。今後は、幼児からお年寄りまでと年齢層を広げ活動していきたい。」とお話いただきました。



## 海を眺めながら、心がほっこりする読み聞かせ

### おはなしの会「もこもこ」（留萌市）

留萌市で活動している「おはなしの会『もこもこ』」は、絵本や童話などの知識を深めるとともに、読書の喜びや楽しさを伝えることを目的として、現在11名の会員で、手遊びや歌などを取り入れた楽しい読み聞かせ会の実施に取り組んでいます。

毎月2回、市立留萌図書館で「おはなし玉手箱」の題で読み聞かせ会を行っているほか、市内6ヶ所の児童館にも順に出向いて読み聞かせをしています。また、2ヶ所のグループホームにも冬季を除いてほぼ毎月出向き、高齢者を対象とした読み聞かせもしています。

10月2日（土）には、留萌観光協会のイベントに協力し、日本海を一望できるラウンジで、親子連れを含む観光客や市民の方々に読み聞かせを行いました。絵本の読み聞かせだけではなく、手作りの大型紙芝居やハンドベル演奏、「ふるさと」を歌いながらの手遊びもあり、参加者も一緒に歌を口ずさんだり、手をたたいたりするなどして、会場が一体となった楽しい活動となりました。



図書館の読み聞かせ会場で。



海を見ながらの読み聞かせ。

